

雜 錄

●ベスレヘム製鋼所十億圓の注文を有す

ベスレヘム製鋼所並ひにその數多き附屬諸會社が有する注文は總計實に十億圓の域を越へたり、是を昨年末に於ける九億六百萬圓の注文額に比すれば尙可成の増額と謂はざる可らざる程なり。而してこの多額なる生産の契約を指定せられたる時日内に履行せんか爲には總體にて一箇月に平均八百萬圓に相當する生産を要する割合となる、然るに未だ斯かる數値に達せざる由を耳にすれど、その所以は冬季に於ける作業の不便によりしものにして今後この數を越へん日は遠きには非ざるへしと考へらる。現今にては同會社の副業たる造船のみにてすら月々二千四百萬圓に至れる程なればなり。

今年の一二月に於けるベスレヘム製鋼所の利益は八百二十萬圓ならんと云はれたり、一二月の如き一年中に於ける最難關なりとせらるゝ兩月にして既に斯くの如し。この勢を以てすれば同會社今年中の純益は實に四千八百萬圓に昇るべく一箇月平均四百萬圓を降ることは非ざるへしと觀測せらる。是れ大約一株に付七十五圓の利益に相當するなり。

ベスレヘム製鋼所は今やキューバ並ひにチレーに於ける鑛夫をも含めは總體にて約八萬三千人の勞働者を有し是を昨年に於ける七萬二千人と比するに尙相當の増員たるを認め得らるへし。

キューバの鑛山より同會社が採取する鑛石の量は今や實に莫大なる額となれり、チレーも鑛石多きことは明白なれど如何せん船舶の不足は茲にも及び殆んど船舶來らず。不得止會社はチレーに莫大なる金額を投し、ドック並ひに勞働者の家屋等を作り或は開拓事業を企て、只管他日を期しつつあり。故に戰後に於てはチレーの天產物は會社に取りて疑も無く貴重なるものに至るならん、殊にトーフオー鑛山は少くとも一億噸の鑛石を有すべく思惟せられ、且トーフオーの鑛石は平均鐵含有量六十七・五パーセントにして彼のグレート、レークの鑛石が平均五十乃至五十一パーセントなるに比して勝れるものたること明かなればなり。

トーフオー鑛山を會社に貸したる佛國資本家と會社との間に成りし最初の契約に據れば會社は年賦金の外に採掘料として一噸につき二十五錢を支拂ひ尙一年間に百萬噸以上の採掘ならざる可らずとせられたり。然るに其後最初の百萬噸に對しては一噸に付六十三錢を、更にそれ以上は一噸毎に二十五錢の採掘料を支拂うべく要求せられたりと云ふか最近何等問題を耳にせざる所より見ればベスレヘム會社はこの件に就ては全く承認せるものならんと思はる。

●北米合衆國軍需用鋼材は全製鋼産額の九割を占む

吾が聯合軍側諸國が軍需品の供給を要求する叫は北米合衆國に於ける製鋼業界に今や多大の影響を與へ、或は今日以後に於ては同國一般の工業界に提供せらるゝ鋼材は將にその全產出量の僅かに一割以下に降り製鋼の大部分は軍需品製作に使用せられんとするの形勢に在るなり。

鐵鋼材のみに限らず或る種の必要品にありては其の製作の經營及び分配の權能は聽て米政府の下に歸すべく、軍需品として鋼材を必要とすること多大なれば一時未加工の鋼材さへも徴收せんとするか如き有様なり。例へば米國ステール、アンド、ワイヤ、コムパニーにては五月初め迄の月々の產出額十二萬噸に至らんとする有様なりしかとも現在にて未加工の材料を徴收せらるゝ爲その量減して纔に六萬噸に過ぎざるに至れり。

鋼材の供給せらるゝ方面亦も以前とは餘程異り來り例へば大砲の附屬部となるべきもの或は船舶の鐵道に用ひらるべき板類及び棒類を多く見ることはなりぬ。而して合衆國鋼材供給局々長と同國の鋼材製作業者との會見に依り相互の意志充分に疏通し政府が鋼材の供給を大に必要とする所以當業者側に認められたるか如し。席上にてレプロブル氏か述べたる所謂合衆國が與國側の爲の軍需品製作に使用せんとする額は實に驚くべき程度の者にして目下公然その

内譯は發表し能はされと加工せる鋼材の大約二千二百萬噸を今後八箇月間に必要とするか如く期待せらる。

その内容の確たる額は知るを得されと大體左の如く分け得らるへし、則ち彈丸及び小銃用として六百萬噸船舶用として五百萬噸、内四百萬噸は鋼板にして百萬噸は角形なり、鐵道用たる四百三十萬噸のバー、プレート及び其他の品、針金の百六十萬噸、構造物に用ひらるゝ一百萬噸、造船鐵道以外に用途ある一百萬噸の板及び管、其の他の二百萬噸をその内譯とす。

假令是の内に高價なる特殊の鋼材無く悉く普通の品と考へ且つ政府協定の價格に依りてこれか材料費を算定すれば四億圓に至り、更に製作上の諸費用を加算すれば恐らく數十萬億圓にも達するならん。

然るに一面米國の各製鋼所を見るに四月に於ては輸送の便並ひに燃料の充分なる供給の爲に充分なる結果を得全能力の九十六パーセントに近き働きを示せり。此の割合を以てすれば一箇年間に四千二百萬噸の鋼インゴットを產出し又一箇年間に三千二百萬噸の鋼をロールせらるべきを表せり、若し四月以降此の割合を以て今年中繼續したらんには二千六百萬噸乃至二千七百萬噸の鋼材をロールし得らるべく、斯くては現在の豫定たる軍需品の供給には補ひて餘りあるに至らん。

レプロブル氏は元老會議委員に述べて曰く、製鋼所に

於けるミルは本年四月一日二百三十萬四千噸の注文を有したりき、其の内百二十萬三千噸は合衆國政府より八十三萬一千噸は船舶用、十八萬二千噸は海軍より六萬二千噸は陸軍より、十二萬八千噸は雜用としての注文なりき、更に車輛機關車製造業者及び石油槽製作者よりの注文は三十三萬五千噸を計上せり、更に外國よりの注文としてはカナダより七十萬噸英本國より五萬三千噸日本よりは二十萬噸あり。今や米國內に消費せらるゝもの及び外國に輸出する契約は全部にて三百萬乃至四百萬噸に昇りぬ。されど鋼材用ミルの製産能力は一箇月四十萬乃至五十萬噸なれば應て是等の消化されんことは明かなり、米工業界は斯かる偉大なる注文に對しても時々に貸せは是を解決すべき能力を有す、誠に唯契約の成就是數箇月時の問題に過ぎざるなり。

●支那鑛業時報

臺北溝鐵山概況(支那鑛業時報第四十三號拔萃)

安奉線橋頭驛の西方約十五六支里にして橋頭川に沿ふて下ること七八支里にして小房身あり之れより同川を渡り代家堡子を経て更に進む事三四支里福家堡子の小嶺を越へて臺北溝の小溪に達するを得へし此地帯は太古の片麻岩にして鐵鑛は實に此の片麻岩の間に胚胎するものにして南は破頭山より東北方に擴かれる諸連山に鐵鑛の露頭を見る猶時に閃綠岩を見るも鐵鑛床には別に何等の關係なきか如し走向は一般に東北西南に走り南に五六十度の傾斜を有するも

時にまた東西へ走向を取り南に傾斜する事六十度の場合あり而して此鐵鑛床は磁鐵鑛と赤鐵鑛にして前諸山と同しく扁豆狀をなし厚き所にて二三百尺を示し薄き所と雖も十六尺を有し猶ほ延長に至りては之れを追及せざるに依り明かならされとも七八百間はあるものの如く故に鑛量に於ても稍豊富なるものあり品位亦中位にあり。

●通遠堡鐵鑛近況

別項記載の通遠堡干西溝鐵鑛々區は現時本溪湖煤鐵公司の所有に屬し同公司より係員を派し昨秋より試掘に従事せり。

今其近況を聞くに現時試掘の箇所は同山の所謂本鑛床とも稱すへき南側の鐵層にして目下露天掘にて山腹より山巔鞍部の露頭まで殆んど一直線に延長約六十間を溝渠狀に開鑿せり試掘の結果によれば鑛層の巾員は山頂の鞍部に於て最も厚く四十尺以上を示せとも下方に至るに従ひ縮少し最近開鑿せる第四號と稱する部分は約二十尺あり、而して最も薄き部分は六尺内外に過ぎず此の如く鐵層の膨縮不定にして豫想通り鑛量僅少にして到底大規模稼行の價值なきも同山は幸に交通至便の地點にあるを以て當分補給地として採掘を續行すへしと云ふ。

現時使役せる勞働者は約四十人にして廟兒溝鐵山より分派せるものの外概ね他省出稼人なり故に公司にては山元に苦力納屋を設け之に收容し居れり、賃銀は總て稼高拂とし

火藥道具を公司にて負擔し二千二百箇入一函の採掘賃八十錢の取極めにして現時一人當賃銀五十二三錢に相當すと云ふ。

當公司は本年中に同山より一萬噸採掘の豫定にして現在山元貯鑛約八百噸あり。

因に山元より通遠堡驛迄馬車往復一日二回一噸の運賃約四十錢の豫算なりと云ふ。

●製鐵用として木炭の供給限度

最近製鐵界の好況に伴れ滿洲に於ても二三小規模の製鐵事業を計畫せるものあるか該企業家中滿鐵沿線地方に於て木炭銑製造を起業する場合に於ける木炭の供給總量に就て調査せる所によれば安奉沿線各驛より奥部生産地に至る一〇〇支里間に於ける供給總數量二億萬才の見込にて此内銑製造起業の場合に於ては種々の關係上當初二三箇年間は一箇年五十萬貫以上の供給は事實困難にして且つ漠然通常の手段にては其半額の集收も頗る困難のことなり尙木炭の最近相場安奉線各驛渡十貫につき小洋一圓二三十錢位なりと云ふ。

●鞍山工場概況

位置 南滿洲鐵道幹線の千山驛と立山驛との中間に位し立山驛を距る西南約二哩半の地點に在り。

立山は原鑛採掘地たる鞍山站一帶の諸鐵山に近く且つ附近の地盤比較的堅固なるか故軌道敷設方容易にして從て製

鐵事業に重要なる鑛石の運搬便なると用水も亦其近傍の山河流域及太子河を利用し得るの便あり。

面積 工場敷地は六百六十萬坪外に社宅地等を合せて總面積約三百六十萬坪なり。

生産額 同工場に於ては將來一箇年銑鐵百萬噸及製品八十萬噸を製出する計畫なるか此の計畫に基き差當り第一期計畫として熔鑛爐二基を据付け之を以て製出する銑鐵年額十五萬噸を原料とし之に屑鐵銑鐵又は屑鋼等を補足し一箇年製品十五萬噸產出の豫定にして着々事業を進めつつあるか時恰も鐵類暴騰の時機に際會し機械類其他の材料購入費増大し事業進捗上不勘打撃を蒙りたるか幸にして熔鑛爐建設材料其の他の機械類は既に購入準備を終りたるを以て豫定の如く本年秋季には作業開始に至る可きも製鋼製品工場建設に至りては更に研究中なり。

第一期計畫に屬する諸建設物は目下何れも建設中にして熔鑛爐、熱風爐、發電所、汽罐室等の基礎工事は十月末迄に竣工の筈なり現今工事中重なるものは菅原組請負の工場敷地均しを筆頭に大倉組の諸建築吉川組の水源池鑿井及貯水池飯塚工程局の熔鑛爐基礎工事間組の運鑛鐵道支線工事等にして既に建設使用中の建物は臨時工事係事務所、準備係事務所、従事員宿舍倉庫等なり。

原鑛 製鐵工場に要する鑛石は日支合辦振興公司をして東西鞍山、鐵石山、小嶺子、大孤山、關門山、櫻桃園、王

家堡子の八鑛區より採掘供給せしむることになり居れり鑛石は磁鐵鑛及び赤鐵鑛にして品位も相當に良く必らずしも本溪湖、大冶、朝鮮等の鑛石に劣れりと云ふへからず且つ各鑛區共鑛量頗る豊富にして特に櫻桃園東西鞍山大孤山の如きは鐵鑛至る處に露出し全山之れ鐵と稱するも不可なき程なれば之れか採掘は易々たるものにして抗道堀の必要なく上層より順次露天堀をなすの便利あり。本鐵山の採掘は既報の如く日支合辦鞍山鐵鑛振興公司に於て採掘し會社に供給する筈にして目下櫻桃園西鞍山の兩鑛區採掘準備中なり。

用水 主要用水は太子河より引用する計畫なるも當初用水の一部は千山河より流域に鑿井し之より給水すへし目下鑿井工事中なり、尙太子河より工場に至る十三哩間送水管敷設計畫完成の上は工場用水は勿論將來市街膨脹人口増加に際しても充分給分し得へき豫定なり。

社宅 工場用社宅は獨身者に對しては會社にて建設する筈にして目下職工二百五十人收容のもの計畫中なるも家族持は總て散宿せしむる方針にして差當り散宿家屋の無きため滿洲興業會社をして六百五十戸を本年秋迄に竣工せしむる豫定の下に目下建設中なり。

市街地 工場従事員住宅を中心として新鞍山驛の線路を距てて東西兩側に約二百萬坪の土地を選定して之に市街の計畫を施し第一期の貸附を本年三月五日より開始せり此市

街の計畫は日支人の居住區域を區別し當商業地職員級の住宅地職工級の住宅地低級者の住宅地及び支那人の職工住宅地等に區分して各種家屋を建築するものに貸附くるものなり、本年度中會社に於て施設する市街地の設備は前項の社宅の外に小學校市場病院消防屯所等なり。

●漢冶萍公司株主總會報告概況

總會 民國七年一月二十七日上海總商會に於て第九回株主總會を開き昨六年一月より同十二月に至る營業報告及諸重要事項中利息配當率の決定湖北代表會議增區採掘出願及重役の改選を行ひたり。

因に總理孫寶琦は出席する能はざりし事情あり協理李伯行一切を委任せられ諸件の説明をなせり。

收支決算報告

甲 收入ノ部

一、漢陽製鐵廠大冶鐵山收入

一、粵漢、道清、張綏、南潯、四鄭、滬杭甬各鐵道ニ對シ賣込ミタル鐵軌代金 洋例銀 一、五〇八、八四九、八四〇

一、大冶鑛石賣上代金

五八九、九六三、六六一

一、生鐵賣上代金

三、〇一六、六二六、八一

一、鋼鐵賣上代金

一、九二八、五六六、〇七六

一、物料轉售代金及機械修造料

一六四、一八九、四二四

一、各種料金及運賃收入

五二、八五三、六六一

一、爲替差利及雜收入

四二、五九三、四六六

以上七項合計

七、三〇三、六四二、九三九

二、萍鄉炭山收入

一、本鑛使用並ニ現賣コークス代金

一四、九三六、〇一三

鐵 と 鋼 第四年 第七號

七六二

一、製鐵廠及上海、漢口、岳州、長沙、涿州各局賣上コークス代金

一、七九八、六〇七、九六二

一、本鐵使用並ニ現賣石炭代金

八八、二二三、二五四

一、涿州鐵道ニ賣込ミタル石炭代金

二九、二七七、九八一

一、製鐵廠及漢口、岳州、長沙、涿州、上海、南京、鎮江、各局賣上石炭代金

一、五四三、五六八、五〇三

金

一、石炭コークス運送目減ニ對スル各船主ノ賠償金

二六、二九九、九八六

一、上海、漢口其他ノ爲替差利ヨリ兌換差損ヲ差引ケルモノ

四二七、三六一、五五二

一、各項雜收入

三〇、六八八、八〇八

以上入款計

三、九五八、九五四、五〇九

收入合計

一一、二六二、五九六、九九八

乙 支出ノ部

一、漢陽製鐵廠大冶鐵山支出

一、上海、鄂城、陽新常未瑞昌漢陽各外局經費

一四八、三二六、六四七

一、大冶鐵山經費

五〇八、五一三、八六四

一、華洋材料購入費

五三七、一一七、三八七

一、涿州コークス購入代金

一、五一八、二二二、六二七

一、涿州及東洋各地ヨリ石炭購入代金

七二七、七七三、四八七

一、船舶經費

八三、一九七、〇四八

一、諸運賃

一三〇、八六三、三七五

一、諸職員俸給及雇傭人給料

二二、八四六、五一〇

一、外人技師及職工俸給

一五五、一八三、六四三

一、機械職工及見習等ノ工賃

九四、五一〇、〇九〇

一、臨時職工等ノ工賃

二九、一四九、五八三

一、各項請負工賃

一三六三、八六六、二八九

一、第九期株金利益及各種借款利子

一四八、〇一九、一七四

一、生鐵捐金

一〇六、九三二、九八六

一、各種雜支出

三六、五九四、二二五

一、沉失火車、礦車損失(收回保險金額ヲ差引ケル純損失金)

四四九、一九三、六六二

一、新鋼廠及新化鐵爐添設工料等

四四九、一九三、六六二

一、敷地、家屋、鐵路、臺船、備品等購入費 七二、三九九、九一八

一、鐵路車輛臺船碼頭、機廠料棧、鑛石廠基地房屋備品儀器等購入費 二一三、〇六七、一四五

以上十九項計 六、六七一、七五九、五五五

二、涿州炭山支出

一、坑道開鑿及採炭ニ關スル一切經費

一、五四四、一二六、五〇一

一、洗炭ニ關スル一切經費

九八、七五七、四二九

一、新式ニヨルコークス製造一切經費

四四、七一四、四五一

一、土法ニヨルコークス製造一切經費

一〇七、四一四、三二九

一、各分鑛コークス製造費

三九、〇八九、四二五

一、涿州總局及收支稽核、煤務係等經費

六〇、三五四、三二三

一、炭坑總工務處等經費

四六、二〇五、三九四

一、護鐵團經費

四三、八八二、四一九

一、上海、漢口、湘潭、岳洲等間ノ旅費電報料

二、七八六、九二四

一、探炭工ノ負傷死亡ノ撫卹並一切慈善費

八、八〇五、三五七

一、コークス石炭ノ安源涿州間及涿州間運賃

三八四、四六二、九六四

一、江西、湖南省地方稅

六二、三八九、六二六

一、本鐵提存學校經費並鄉教育捐

二六、八七九、八二九

一、上海、漢口、岳州、長沙、涿州各局經費

一三八、一六八、五八五

一、各局外銷經用等費

八、七四七、四七九

一、石炭コークスノ涿州ヨリ長沙、岳州、漢口、上海等ニ至ル船運賃

一〇四、六〇七、五五二

一、同上積卸解等ノ費用

一一五、二六八、〇五二

一、各船運送コークス及石炭ノ増斤量並ニ其流用増斤量ニ導スル賞與

三九九、五九五

一、第九期株金利息及各項借款利息

九七四、八六一、四〇一

一、洋員損失賠償

一五、五三〇、〇〇〇

一、本鐵山用地買收費

二、〇四八、〇〇七

一、本鐵擴張各經費

一七九、六五四、二四九

以上二十二項計

四、五〇八、一五三、九四四

以上收支差引

一一、一七九、九一三、四九九

漢陽製鐵廠大冶鐵山純益 六三一、八八三、三八四
 萍鄉炭山損失 五四九、一九九、八八五

現有資產表

一、漢陽製鐵廠及大冶鐵山資產

一、新鋼廠設備費 八、六三三、三四五、四〇四
 二、新熔鐵爐設備費 三、七八一、八一四、六七〇
 一、歷年增設ノ土地、家屋、車路、船舶、機械熔鐵爐、家具什器等價格 四、六〇五、三四七、八二二
 一、官ヨリ引繼ケル舊廠業務設備費 二、七八七、九九四、二〇〇
 一、鋼鐵、石炭、コークス、鑛石諸材料、電料、機械及其他ノ賣掛代金 四、七二六、一六〇、九〇六
 一、添置セル鐵路、車輛、臺船、碼頭、機械、料棧、鑛石、基地家屋、家具 六二二、八〇九、一八七
 儀器及存結鑛石價格 二五、一五八、四七二、二八九
 以上資產合計 二四、四五六、一八四、一四二
 内前年度ニ於ケル投資額 七〇二、二八八、一四七
 差引本期増加投資額

二、萍鄉炭山資產

一、鑛 一、一七八、七八二、三九二
 一、鑛外家屋生財 九〇、一九三、七八〇
 一、安源坑設備費 六、五八一、二五〇、七九〇
 一、汽船、艇 一、四六四、六五五、六九一
 一、石炭コークス現在額 一、三〇五、〇八三、一一〇
 以上計 一〇、六一九、九六五、六一〇
 内前年度ニ於ケル投資額 一〇、〇七一、二〇四、五〇二
 差引本期増加投資 五四八、七六一、一〇八
 總計漢冶萍公司本期純收及增加成本收支差引 一、三三三、七三二、七五四
 收支差引高ハ六十三萬千八百八十三兩三錢八分四厘ノ剩餘ヲ生シタリ

如上の好結果を來したり然れとも一昨年度郷萍炭坑に於て五十四萬九千一百九十九兩八錢八分五厘の不足額の埋合を爲したる上預金としては漢冶廠は一昨年度に比し七十萬

二千二百八十八兩一錢四分七厘、萍鄉炭坑も亦一昨年に比し五十四萬八千七百六十一兩一錢〇八厘の増收にして前者を差引合計する時は六年度の増收額百三十三萬三千七百二十二兩七錢五分四厘の預金を爲すに至りたり此の如く剩利を得しは全く歐洲戰爭の爲め鐵價暴騰し營業爲めに發達したるに依るも積年の缺損を補はざる爲め未だ完全に蘇生の域に達する能はざるなり。

利息 同公司の規定に依る時は株主配當利息は八厘とあるも歷年營業不振の爲め未だ規定の配當を爲すこと能さるしか昨年の營業は頗る好果を收めたるを以て規定の配當をなすへき筈なるも現金を以て支拂ふ能はざるを以て董事會を開きし結果本年度は六厘の利息を配當することに決し爾後本年度の例に規定を改めんとの提議ありしも種々の動議あり規定は其儘變更せざることに決定せりと云ふ其他經營上湖北省會議より種々の動議ありたるも是又一切の要求を否決せり。

擴張事業 公司是鄂城、象鼻山の兩鑛區を採掘する爲め夏總理を農商部に派遣し採掘權を稟請せるも同部は之れに許可を與へざりき、元來同公司は大冶地方の出鑛日に盛大となり從來の工場にては不足を告ぐるに至り別に新工場を建設することとなり今や已に其竣工を見各機械亦已に外國に注文したり舊年末迄には開工する計劃となり居れり依て新工場設立後は毎年鐵は五六十萬噸を増加すべく鑛石亦百

萬噸に上るへきも前述の如く採掘の許可なき爲め公司内部は將來困難すべきを豫測し農商部派遣員も列席したれば此機會を以て交渉を開始し一月二十七日農商部に對し採掘權許可書下附の要求公文を郵送することに決議せり。

重役改選 今期重役の改選を左に行ひたり。

重 任	孫 寶 琦	李 士 偉	周 金 箴
新 任	盛 澤 承	楊 綬 卿	傅 筱 菴
	張 知 笙	沈 仲 禮	邪 晁 之
	陶 蘭 泉	吳 錦 堂	
監查員	沈 聯 芳	謝 綸 耀	林 薇 閣
新 任	劉 襄 孫		

現況 南北戰亂のため萍鄉炭及コークスは南軍の爲め長沙に於て占領せられ漢陽鐵廠は勿論其他各工場共供給の途を絶たれ本年二三月の頃非常に困難の狀態に陥り同廠の如きは漸く河南省福中公司の無煙炭をコークスに混用し辛ふして百噸爐二臺を使用し來りしも三月下旬には全くコークス缺乏し開鑛炭の注文を爲せしも船腹不足の爲め到着せず今一週間以内に到着せされは休業止むなき迄に至りたるか此時恰もよく長沙陷落し萍鄉炭は北軍の手に歸し直に輸送を開始したるため休止の厄を免れたるも限りある輸送力と渴したる各工場は先を爭ふて買入るる爲め尙ほ石炭及コークスの不足を生し近く輓回の見込なしと云ふ。

●象鼻山鐵鑛近況

大冶縣同鐵鑛は曩きに高佑諸よ

り鑛務監督署に其採掘を出願せるも久しく其許可を得ずして鑛業權の確定を見さりしか其後漢冶萍公司より中央政府に向て採掘權許可の申請を爲したることありしか今回李椿軒、屈春波の兩代表者は北京より歸り湖北官鑛署に現時鐵鑛の主要にして一日も緩にすへからざることを陳述し王督軍は其意を容れ農商部に對し電請したる結果即日認可となり官鑛署を経て其許可書の交附を受けたりと云ふ。

●湖南及其他各省

●汝城縣錫鑛概況

概況 汝城縣(舊名桂陽縣)は湖南省南陲に位し東は江西省の崇義、大庾兩縣に接壤し南は廣東省の仁化、樂昌兩縣に境し西は湖南省の宜章と比鄰し北は桂東、資興兩縣に連接し山勢一千二百尺以上の位置を占め民俗は朴實にして古風多く商業は微々として觀るに足るものなし一箇年間僅かに三百萬元に過ぎず土民の商買は廣東江西の取引多く湖南省内の取引は甚た少し從來世人の注目するものなかりしか鄰縣宜章縣瑤岡仙のタンゲストン鑛山の發見されて開發せられし以來、始めて廣東人の探鑛せるものあるに至り汝城縣人にして長沙に居住せる紳士朱廷利か技師李秉乾に委嘱して公然探鑛せしより汝城縣下に於ける鑛業は漸次色彩を帯ひ來りたり汝城縣の土民は排外心盛にして廣東人を排斥するに止らず湖南省内の鄰縣人の縣内に開鑛する者を排斥

汝城縣の地質は宜章縣の瑤崗仙と同じく全縣の山地質

脈大部分は花崗岩、泥板岩、石板岩、石灰岩、白雲岩にして含有せる錫鑛タンゲステン頗る多く大部分は錳ヒズマス（鐵滿俺重石）鑛となす即ち石英、黃銅鑛、硫化鐵、天然鈹（蒼鉛鑛）硫鉀鐵鑛（硫砒鐵鑛？）方鉛鑛、硫鋅鑛（閃亞鉛鑛）等聚生し鑛脈は花崗岩中に垂直狀をなし其厚度一寸乃至四尺不等なり養化錫

汝城縣の鑛鑛會社一覽表

[illegible]

(?)を含む最も多きは百分の三四十に達せり其間微棕紅色(?)及紅寶色の養化錳錒(?)を含むものあるも其量甚た少し。

工賃 近來は従前に比し勞銀昂貴の影響をなし小工一人に付一日二角乃至三角三分、石工（詰負）鋤鑛ダンゲステン百斤採出に對し九元乃至十元とす。

鑛業者 民國六年七月より本年迄五箇月間に於て該縣内
出願者三十餘件に上り鑛區面積は五十方支里以上に亘れり
左に會社組織となれるものゝみを表示す。

地名	面積畝
南鄉西坪嶺	二千六百餘畝
南鄉白雲仙	四百八十二畝
南鄉白雲仙脚馬跡嶺	一百〇四畝
同上將軍寨	一千八百十一畝
南鄉界頭天鵝塘龍脰	一千〇三十六畝
西二區黃竹坑蛇脰坳	六百二十三畝
西南鄉將軍寨背上福洞白石坳	未詳
南鄉龍虎洞山塘	五百六十畝
南鄉大園大塊田	七百〇七畝
南鄉分界嶺	二千餘畝
南鄉白雲仙腹	千六百〇八畝
南鄉粗石壩	二百七十一畝
文明局粗壩雄牛灘牛形	八百五十六畝
延壽將軍寨	未詳
西鄉白靈仙之上鵝山上坪山鵝形壩	同
西鄉謝家碕	

同	久	志	裕	隆	汝	大	維	中	隆	成	益	利	同	同	益
同	豐	城	豐	豐	利	昌	新	國	章	城	南	南	同	同	南
黃農	黃農	朱繼英	李仲培	宋佛青	朱廷利	程子楷	許少弦	郭公佑	黃甫生	何安楨	同	同	同	同	朱應和

以上鑛區の内出願重複のもの頗る多く亦出願却下のものなしとせさるも掲げて參考に資す

西鄉粗石壠	百二十六畝
西鄉細坳子	未詳
大坡頭食水壠炭管石崩崗頭	二百七十畝
南一區界頭門錐子窩梅子嶺	三百餘畝
南一區界頭門龍脛灣坳坵下竹塘子小龍形	三百三十畝
大園了壠大山牛頭壠靖江	千三百畝
南鄉粗石壠	二千五百四十六畝
石壠頭別名大石板	未詳
文明鄉烏跡嶺	同
南鄉白雲仙大窩菩薩抱子	千八百九十六畝
南鄉謝家碕	七百十七畝
延壽小園大山水口上大路邊	百二十一畝
西鄉延壽小園寒背蕉葉壠	百五十九畝
南鄉鞋底石牛欄坑	未詳
西鄉延壽將軍寨	同
同上流脚下	同

●湘潭縣鶴嶺滿庵產地概況

位置 湘潭縣上五都に在り縣城を距る南三十支里東轉湘江を距る十八支里、北斬江河を距る十六支里三角寺より上石衝に至る綿々二十餘支里、山勢連續して群山の上に突出するものを鶴嶺とす、鶴嶺の西は傳仙峯を最高地とし鶴嶺の東は石牛峯を最高地とす、石牛峯の左を竹桿衝伍家衝と云ふ。

傳仙峯の左右に大衝灣、清水塘、黃公塘、方塘坳、上石衝あり、鶴嶺の左右前後を顏家衝、子貴衝、豹子嶺、蕭家

灣、丁葉塘、仰天湖と云ふ各處に滿庵鑛ありて就中顏家衝、蕭家灣、傳仙峯、大衝灣の鑛質を佳良とす。

來歴 滿庵層の地面に現出するもの甚多く、土民は之を鐵鑛と誤信して俗に黑石と稱せり、民國三年盧志學なる者湖南旅行中其名を聞き探查せしめて、此滿庵鑛山を發見し遂に熊希齡李一琴等と資金を籌して裕生鑛務公司を組織し先づ顏家衝に於て開採して一日二十餘噸の鑛石を採收するに至り次に蕭家灣、大衝灣及黃公塘に開鑛して一日六十餘噸を收穫せり民國六年五月再び工程を擴張し、事務員五十餘名と各處の工夫千餘名を使用し、毎月の經費六萬二千

餘串文を費しつゝ毎日の産鑛額約百餘噸を獲るに至れり。

地質と鑛床 鶴嶺一帯の地層は砂石頁岩、薔薇輝石、粘板岩に構成され滿俺鑛は薔薇輝石と粘土の間にありて、不規則なるも殆ど岩層と平行して東北より西南に走り約七十餘度の傾斜をなせり。

探鑛 顔家衝の鑛脈發見せられし後、再度探鑛を試み全山隈なく探索し其鑛石の有無を究めたり。

採鑛 採鑛を二種に分ち一つは明窿を開き大脈を採掘し他は大脈に沿て土子を挖つて採取す。

大脈を採るには鑛脈現出せる處に於て爆裂法を用ふ即ち岩石に孔を鑿ち其孔に水を注ぎ小竹桿を以て石粉を吸出し其孔三四尺の深に至りて焙藥を充填し、火を導くなり大孔に沿て土を鑿ものは工夫を數排に分ち、一排に四人乃至六人とし順次に土を挖翻す、其深一尺より五尺に至る即ち主脈より移し來れる鑛石を土子と稱す其存在せる處甚深からす之を挖土子と通稱し居れり。

選鑛 鑛石を三種に分ち一淨鑛、二雜鑛、三廢鑛とす、淨鑛は隨時に運出し、雜鑛は選鑛場に運搬し大鎚を以て極碎す、選鑛場に用ふる篩は轉篩、抬篩の二種あり抬篩は二寸眼とす。

運搬 水陸兩路あり、陸路も二路に分る(一)は顔家衝より炭塘子に至る、十八支里専ら荷車(人力を以て挽く)を用ひ毎噸運賃三千文(二)黃峯寺より南廟に至る十五支里毎噸

運賃二千五百文、水路も兩路ありて(一)炭塘子より漢口に至る毎噸運賃三千六百文(二)南廟より靳江河に至る毎噸運賃千五百文再たひ靳江河より漢口に至る毎噸運賃三千六百文。

鶴嶺分公司の組織 此に鶴嶺分公司に於て、管理員一名長沙本公司の經理に直屬す、管理員の下に收支、文牘、庶務、探鑛、採運、選鑛、試驗、測量、轉運、彈壓の十課を設く採運課は一箇處に分置す、(一)鶴嶺採運處は顔家衝に在り主任一名、收支員一名、監工員七名、司磅(量目を量る者)員三名、實習生三名を置く(二)黃峯寺採運處は黃峯寺に在り、主任一名收支員一名監工員六名司磅員二名(三)三角寺採運處は三角寺にあり、主任一名收支員一名監工員二名、轉運課は二處に分つ、(一)炭塘子轉運處に主任一名收支員一名司磅員四名(二)南廟轉運處に主任一名收支員一名、司磅員二名、收支文牘課、庶務課、探鑛課は各主任一名を置く選鑛課に主任一名、監工員一名、試驗課に主任一名助手一名測量課に主任一名幫辦一名彈壓課に警察長一名交渉員一名を置く。

●水口山借款概況

(本誌第四十二號
第七十二頁參照)

同山の借款なるものは水口山より採取せる鑛石を購入する契約に外ならず即ち三百萬圓を限りて其採掘せる鑛石を購入することとし差當り手附金とし三十萬圓を交附せるものなりと關係者側にては辨明しつゝあり而して該借款は三

井、三菱、大倉、古河、久原等相合同して一團體をなし以て利權の獲得に成功せしものにして對支經營の一進歩と稱せらるるものなるか折角有望の事業も今や南北の渦中に捲込まれて行惱みの狀況に在るは甚た遺憾とすへし最近湖南に於ける南軍の形勢振はす督軍たる譚浩明、省長たる譚延闓は孰れも湖南より落延ひて北方派たる張敬堯代て之に督軍省長たるに至れり然るに湖南人間には自守獨立の風旺にして依然湖南なりとの論法を以て内外に臨みつつあり而して督軍省長の如き湖南省出身の人物を以てすれば事なきを得るも張敬堯の如き北方出身の人物之に督軍たり省長たるは決して湖南省民の心を得たりと云ふ可らず而して水口山採掘は事實湖南省其ものの事業なるにもせよ省當局にては表面上湖南省民の事業なりと稱しつつある程にて省民の甘心せざる督軍省長の下に在りて之か採掘を開始繼續するか如きことは望み得へからざる所なりとす即ち事實に於て水口山採掘の進捗する所なく邦人は單に利權獲得の空名を贏ち得たるのみにして南北の紛争容易に解けず湖南をして永く北方派の下風に立たしむるに於ては水口山の將來もまた甚た不安なるを免れず此の如く折角の經濟的對支發展も南北紛争の爲めに動搖と不安とを感ずること甚しきに於ては將來好んで此方面に投資せんとする者も遂に止阻逡巡せざるを得ざるに至るへし。

●江蘇省鳳凰山鑛内容

(本誌第四十二號
第八十一頁參照)

地形及交通 江甯の西南約六十支里なる雲亭市(一名抹陵市)あり該鎮の東北約十一支里を隔てて胡須橋なる地にあり同地方附近にて本問題の鳳凰山の外張山、牛山、扁担山、小張山等均しく赤鐵鑛を産す山名異なると雖も山脈は連亘として數十里に連り鐵鑛床は同一脈なり其標高約百四十五米突にして周圍の平原に比する時は約一百米突高く城鎮を距ること僅かに四十八支里にして張山の山脚に源を發したる河道ありて南京城外の河流に注ぎ楊子江と相通するを以て日米汽船の往來絡繹として絶へず故に交通極めて至便なりとす。

鑛床 岩石は灰質紅色砂岩及不純の石灰岩にして概ね變性の形狀を成す層向は東北西南にして西北に四十度乃至五十度の傾斜をなす山面の鐵鑛露頭は砂炭石灰岩の間に狹在せり鑛床の最も大にして佳なるものは鳳凰山にして牛山、小張山之に亞き扁擔山、張山は更に之れに次く。

鑛區面積 鳳凰山の面積は九百三十九畝牛山八百十五畝扁担山、張山は四百六十五畝、小張山は五百九十畝にして全鑛區面積二千八百九十畝に上り鑛脈の延長は露頭に依り測定するに南北長千五百米突東西約五百米突に達す。

鑛量 支那側技師の算定に依るときは地平線下の量約五千萬噸、同線上約四千萬噸にして若し一日千噸つつを採掘

するとせは一箇年三十六萬噸に及び約百餘年間は同一量の産出を見ることを得へし。

▲品位 (百分中)

鴨 蛋 陽	五八、八七	銅 鎮 山	二三、七一
張 家 山	六二、八六	陰 山	四三、八〇
渣 塘 山	一六、一一	鳳 山	五九、五二
銅 鼓 山	三四、三七	西 銅 鼓 山	三五、三四
秋 瓜 山	六八、五四	納 頭 山	三七、八五
龍 山	三八、二二	童 李 山	四七、三三
廟 山	五七、九六	張 家 橋	六五、五六
朴 塘	六四、〇四		

●香港に於ける錫鑛

在香港米國領事アンダーソン

氏の報告なりと云ふを聞くに香港に於けるタングステン鑛の發達は目覺しきものにして支那領域中に在るものの如く廣汎なる地域の各處に散在せるものとは異りて香港に於て一定の地域に層を成し無限に存在せるなり香港に於てはタングステン鑛産地は六箇處あり其内三箇處は既に幾分開發せられ其鑛石のタングステン含有量は實に十八%の高きものにして鑛脈の層厚十乃至十八時に及ぶ此等其面積は未だ調査を遂げざるも其區域は廣大なるものゝ如し其鑛量は世界産地中に於ても屈指のものゝ一たるへしと信せらる香港政廳許可の下に之れか採掘に従事せるシンデゲートは英米の資本を含有せり。

最近タングステン輸出者の傳ふる所に依れば香港より旅程四日なる湖南省の地に於てより以上の豊富なる鑛區ありと

の事にして目下米國鑛業家之れに従事せり。

在倫敦米國大使の報する所によれば英本國政府は香港政廳に訓電を發して米國の商社は香港經由にてタングステン鑛の定期積出しを受くることを得但し之か特許は豫め下附せすして鑛石の買入を了し積出し準備出來たる時に之れを下附すとのことなり。

又英國商社は鑛石は先づ英本國軍需大臣に提供し右大臣か之れを請けざる時に初めて米國へ賣渡すことを得へしとなせり。

●一般鑛業に關する事項

鐵鑛公司監督權限章程

農商部令第一九號

茲に鐵鑛公司監督權限章程を訂定公布して此に令す。

中華民國七年二月八日

農商總長 田 文 烈

鐵鑛公司監督權限章程

第一條 鐵鑛公司是官督商辦或は官商合辦の論なく均しく特准採探鐵鑛暫行辦法に依り農商部より監督官一員を選派し常に公司事務を監視することを得。

第二條 凡そ鑛區接近し或は交通便利の各鐵鑛は其公司事務の監督一人をして之れを兼任せしむることを得。

第三條 公司是特准辦法第三條の範圍内に於て鑛物の發賣

及其他外國人との交渉事項は先づ監督を経て農商部に出席し其許可を経たるものに非らされは其效力を生ぜず。

第四條 公司發行の株券及株金増資等は均しく其辦法を具し監督を経て特准辦法に依り決定すへし其所得の鑛業權を抵當權の目的と爲さんと欲するものありて特准辦法第一條第二項に違背する時は監督は之れを禁止し一面農商部に稟請すへし。

第五條 公司是採鑛製煉の施工計劃及僱用技師の契約等を爲さんと欲する所を先づ監督より農商部に提出し其審定を受くへし。

第六條 監督は公司に對し營業の帳簿、契約其他重要な關係を有する書件は隨時其調査檢閲を爲すことを得。

第七條 監督は公司に於て納入する鐵捐税は特准辦法第四條に依り力めて徵收し並に分別して存留すへし。

第八條 監督の俸給は農商部の査定を経たる後之れを受くへし即ち徵收せる鐵捐税の半數を省經費内に留めて斟酌支給し第二條の監督兼任に對しては俸給を支出することを得す。

第九條 監督は公務の處理上必要に因り僱員二名乃至四名を酌用することを得其俸給及公用の筆、墨紙、郵便、電信等の費用は均しく前條の經費内より支出し一纏めとして提出すへし。

第十條 監督は公司の辦理情況及俸給公費等の收支決算は

一箇年毎に取纏め農商部に報告すへし。

第十一條 監督の公文様式左の如し。

甲、農商部及各省區最高行政長官に對しては呈を用ふ

(呈は日文稟請或は申請の意なり)

乙、廳長、道尹、其他官署及縣知事に對しては均しく公函を用ふ(公函は照會の意義なり)

丙、公司に對しては令を用ふ(即命令なり)

第十二條 本監督は確實に本章程及其他關係法令に違背する時は農商部より隨時修正す。

第十三條 本章程に若し未だ盡さる事項及改修を行ふべき處あらは農商部は隨時其改訂を施行す。

●木曾電氣製鐵株式會社の近況 名古屋電燈株式會社製鐵部は木曾電氣製鐵株式會社の試験工場として昨年より工事に着手せり電氣製鋼所顧問技師内山工學士之

か指導の任に當り晝夜兼行にて作業準備中の處昨今略其設備を了し來る七月一日より電氣製鐵の操業を開始せんとす尙同會社は本工場完成の曉には年額十萬噸製造の計畫にて既に瑞典エレクトロ、メタル會社より電氣鑄鑛爐の特許を讓受け尙同社より技師及職工を聘し木曾川の豊富なる水力を利用し中部日本の天地に一大電氣製鐵所の實現を見んとす國家の爲め轉た痛快事ならずや。

●永久磁石鋼 大阪住友家の寄附に依つて本多博士か

仙臺理科大學第二理化學研究所で研究したマグネツト鋼は

見事に成効せり而して今回大阪住友鑄鋼所で大規模に製造する由なるか世界に未だ斯く迄完成された磁石鋼が現はれて居らぬのである。

此のマグネット鋼は飛行機自動車を始め電信電話に頗る必要なもので博士が研究の動機も此處にあつたのであるが大阪住友鑄鋼所の一部に大規模の製造工場を建て、もう製造に着手して居るので其の中販賣を始める筈である博士は此の研究の外高速度鋼の改良に思慮を凝らして居る從來世間に流布してゐるものは孰れも不完全なもので世界第一となされてゐる奥太利ベラーの高速鋼にて之は三四種博士の手にあるも……脆くて柔くて實際の使用を満たすには不便の點が多い博士の研究は之と較べると遙かに進んで居り硬度などは比較にならぬ程である博士は双方を出して硝子を切つたか外國製のは硝子の上を走るだけであるのに後者は充分に硝子を傷け思ふ様に切れた硝子切としては是迄金剛石が使はれてゐたか今後は安價な高速度鋼を以て之に換へることか出来るのである併し高速度鋼の用途はガラス切にのみあるのではなく製造工業上種々の場合に缺くへからざるものである博士のは硬さに於てはもう遺憾がないか未だ幾分脆弱である此の夏休み中に更に研究を加へ充分強靱性を與へて完成品にしたいと博士は語つてゐる。

●各地製鐵工場の進捗

製鐵業勃興狀況に付いては屢々報道した通であるが、最近製鐵調査會に於て發表し

たる處及び昨今各製鐵工場の進捗程度を見て將來の需給關係を豫想すれば大要下の如き事實が判明する。即ちその需要額に付いて見れば本年の銑鐵需要約三十六萬噸にして五年後の大正十二年には五十餘萬噸に上るべく、鋼材需要本年の豫想百十餘萬噸、十二年豫想百五十餘萬噸、其他鐵製機械輸入を約十萬噸と見て加算すれば合計本年度總需要額百五十餘萬噸、十二年度二百十餘萬噸と云ふ堪定に爲る。之に對して内地及滿洲より供給さるゝ鐵材總量は大正五年度に於て四十二萬餘噸、六年度は約倍額に達し得たるも、尙本年の需要に對すれば遙かに不足を慙ふる譯である。最近各工場の設備漸く進捗し、殊に朝鮮に新設した三菱製鐵所の如き既に一基据付を完了し毎日百五十噸位の生産ありと傳へられ近く又一基据付の運びと爲るべき由。二基にて約三百噸宛生産し得るものと假定すれば年額約十萬噸の新材を得ることゝ爲る八幡製鐵所も六十五萬噸計畫に對する工事着々進捗し居れば旁近き將來には百二十三十萬噸の生産を見るに至るべきか。若し十二年度要求額二百十餘萬噸に對すれば及はざること甚たしいやうであるか、それ迄には各工場の設備悉く完了して約百五十萬噸の生産能力を發揮することゝ爲つて居るから、今後更に擴張新設もあるものと見込んで彼是自給の域に達し得るであらう。而して此の域に達する迄の間不足額を補給する程度の輸入は必ずしも困難でなからう。今、各製鐵所に付いて其の生産豫

想を見るに、八幡製鐵所は六十五萬噸で大冶鐵礦其他買鑛及ひ探掘の準備着々進捗して居る。釜石は十五萬五千噸の見込みで來年度は略豫定通り製出し得へし。鞍山站は十五萬噸見込みで目下尙僅少の生産なるも將來は百萬噸以上の生産能力を加へ得へき見込みの由。三菱兼二浦製鐵所は前記の如く約十萬噸の見込みあり、既に設備半竣工。本溪湖煤鐵は十萬噸の豫定で既に昨今一日百三十噸の生産あり。北海道製鐵は九萬噸の豫定で近く見込通り産出すへし。其他見込額に於て東洋製鐵の十五萬噸、安川製鐵の五萬噸、大倉組の廣島の一萬五千噸等大小合して約百五十萬噸は今後二三年で自給されることに爲る譯であるか中に就て最も弾力性に富むものは八幡の外滿洲朝鮮に工場を有するものであらう。近頃は又支那内地にも日支合併を以て計畫しつつあるものあり、電氣製鐵の計畫も尠からず、凡て順調に進捗すればこれから米國に鬻弄されんとも濟むやうに爲るてあらう。

●自給緊要の材料

逓信省の調査に依る電氣工業用

材料需給狀態左の如し。

薄鐵板 戦前は英米の供給を仰ぎ、内地製作皆無なりしも、英米禁輸後は米國より多少の特許輸入あるのみ、自給自足を講ずるの必要あり。

磁鐵鋼 前同様の立場と爲り、近時内地にて數個所の製造を見るに至れるも未完成且つ低廉ならず、而も此の自給を

得ざる限り、電信電話用通信機並に電氣計量器類製造の獨立は至難也。

絶縁材 是れ亦主に海外の供給に俟ち、唯たゴム調合材料及ひ絶縁混和物等に於て一部の内地製あるのみ、更に自給を努むるの必要あり。

●鳳凰山鐵礦 南京秣陵關の鳳凰山鐵礦に關する日支合辦計畫が英國議會の質問となれるか之に對する外務次官の答辯は所謂勢力範圍と門戶開放主義との解釋上より特に注意を要すへき次第なるか开は兎に角鐵礦問題に關し最近の上海北支那日報は大要左の如き記事を掲載し居れり蓋し之と類似の電報が在支通信員より本國に電報され其の注意を喚起し居れる次第なるへしと云へり。

鳳凰山鐵礦に對しては袁世凱の帝制時代に日本の大倉組より一百萬元を某公司に貸付けありたるに歷任の農商總長は右借款契約を否認し一百萬元を返却せんとせしも大倉組は之に應ぜずして今日に至れるものなるか最近の國務會議は本問題を農商務の管理より陸軍部に移し改めて日本政府との間に二千萬元の借款契約を爲し鐵礦の探掘は支那側に於て之に當り製鋼事業を日支合辦とすることに決し尙ほ殘餘の鑛石は悉く之を日本に輸出するを漢治萍の如くならしむることを許し之が爲日本側は大倉組をも前借款に對する權利を放棄せしむると共に新に三井大倉其他のシンヂケートを組織し既に陸軍部代表たる李純との間に調印を了し取致す一千萬元を前渡金として交付することとなれりと聞く該鐵礦の產出額は他に比類なく優に五千萬噸を得へき見込なるか上硫黃分の含有少き爲最も軍器の製造に適すべく從來農商部が容易に之を他國に許與せざりしは其の長江流域の工業發達と至大の關係あるを慮りしに由る云々。

●米國製鐵管理軍事公益以外不給

戰時工業局

十四日(欸問)附を以て今回成立したるアメリカン、スチール・エンド、アイヨン、インスチチュートとの協定を發表したるか其要旨は米國の鐵礦は先づ自國及聯合國の直接間接の軍需に充當し過剰ありたる場合に公平に一般民間の需用に應ずへしと云ふにありて其内容大要左の如し銑鐵及鋼製品は爾今左記の場合にあらざる限り積出し又は引渡をなすべからず。

第一 戰時工業局の發給する優等々級證明ある場合。

第二 前記の註文を完成したる後初めて其他の註文の爲材料品及製産力を利用し得へし但し此場合に於ける註文は優先等級課の決定する所の軍事、燃料、食糧、鐵道、公益等の用に供さるべきものたるを要す。

前記の註文を引受け尙餘力ある場合には其筋の許可を得て一般民間の需用に應ずることを得。

右に依り米國の製鐵事業は事實上政府の管理の下に置かれ軍事又は公益に關係なき需用を充たす事漸次困難となるへし。(在米石井大使發外務省十六日着)

●佛製鐵業打撃

佛國にては千九百十三年に二千五百五十萬噸の鐵礦を採掘し中千三百十七萬噸は白國製鐵場にて溶解し殘額八百三十萬噸は白國及ひ獨逸に輸出せるかは等の鐵礦は殆どロートリンゲン州より産出せるものなれば佛國か同州を喪失するに於ては同國の鐵工業は全滅すへしとまで絶叫されたるに今や獨軍は同州の鐵坑區域の大部分

を占領せるを以て佛國に於ける鐵工業は大打撃を蒙りつゝありと。(在瑞西三浦公使報告)

●長崎製鐵創業

長崎市橋本辰二郎氏の主唱になれる長崎製鐵會社は四日創立協議會を開き長崎市財界の有力者約四十名の來會者あり一同百株以上の引受を爲して發起人たる事を承諾し且東京、大阪、神戸等の有力者を勧誘し發起人たらしむる事とし創立委員十名を挙げ引受株の確定及假定欸の作製を爲し創立總會を開く、事となれり同會社目論見の綱領左の如し。

資本金五百萬圓 ▲工事完成三箇年 ▲起業豫算三百萬圓
(銑鐵工場二百萬圓、雜工事百萬圓) ▲揚子江沿岸礦石を基礎とし朝鮮産其他の鐵礦を混用し銑鐵製造を先にす
(已に中日實業公司との間に年額十萬噸の供給契約交渉濟なりと) ▲骸炭は筑豊若くは肥前炭を基礎とし開平炭配合 ▲熔鑄爐百五十噸一基は會社創立後直に主務省の保證を得て米國より購入。

●大島製鋼擴張

大島製鋼所にては舊東京製鋼時代に於て米國に注文したる二千噸水壓鍛鍊機は今春到着したれば既に基礎工事を終り目下据付中なるか八月より操業開始を見るに至るべく而して右鍛鍊機に要する鋼塊製造の爲め目下二十五噸平爐一基増設中にして本月末には操業を開始すべく右竣工の上は現在の十噸平爐を二基共に十五噸平爐に改造すべく是等の擴張計畫にして全部完成の上は一ケ

86 年の製鋼能力殆ど四萬噸に達す可しと云ふ。

●石狩製鐵所の設立

函館の金森氏の經營にして二十噸高爐一基を設け急速に銑鐵製造に着手する筈にして技師は元製鐵所技手河田源六君を聘し已に高爐金物等は石川島造船所にて製作し工場所在地江別に送付せる由なり。

●不二製鐵設立

東京田中氏經營に係る函館線森村に於ける一噸熔鑛爐は來る八月上旬竣工する迄に工事進捗しつつあるか右原鑛は有珠郡壯麓村字久保内村田外數名の鐵鑛區なるか此程不二鑛業部と採鑛契約成立し、日々荷馬車にて一呎約二十貫入三十呎宛西紋麓村波止場迄搬送し森行定期船にて回漕せるか二十八日より愈採鑛擴張を行ひ一日百呎宛回漕することゝなれり猶不二鑛業部は追つて久保鑛内現場にて製鐵の計畫ありと。

●中央製鐵總會

岐阜縣郡上郡奥明方村地内に工場建設中にて來る九月には愈々製鐵事業を開始せんとする中央製鐵會社に於ては來る二十七日東京にて總會を開催に付重役平野増吉氏及び同地美濃製鐵所支配人等は其前日迄に岐阜市を経て上京すへしと。

●川崎鋼板製造

川崎造船所の葺合鋼板製造工場は各種の設備完成したるより本月下旬より愈々操業開始の運びとなりたるか同所には二十五噸爐五基を据付けあり主として大型及び中型鋼板の製造をなすべく一日優に百二十五噸を製出し得へし尙同所には將來飛行機及び自動車用の發

動機工場をも併置する由なるか今回大阪砲兵工廠註文の軍用自動車二臺は製作上の都合により本工場造機工作部に於て製作すへしと。

●東京銑鐵増資新工場建設中

東京銑鐵會社にては千住舊工場に四尺五寸熔鑛爐二基の設備あり一日宛交替作業にて屑鐵より一日六七噸の銑鐵を再製し居れるか尙目下建設中の新工場には九尺熔鑛爐二基を据付くる筈也右新工場建設費として約十萬圓の資金を要するのみならず銑鐵の原料たる屑鐵買入に約二十萬圓其他流動資金をも要すへければ結局現在資本金十五萬圓を百二十萬圓乃至百五十萬圓に増資すべく重役間に熟議中なりと巖本同社取締役はいへり尙同社は本月末を以て上半期決算を締切るべきか成績良好なれば三割以上の配當を爲し得べく増資案は來月の定時總會當日併せて附議すへしと。

●九州電鋼成立

九州電鐵重役間に於て豫て名古屋電燈株式會社か電氣製鋼事業を經營して好成績を挙げ居れるに鑑み同種事業計畫の素志ありしか今回愈資本金五十萬圓(四分の一拂込)九州電氣製鋼株式會社を設立し去る一日創立總會を福岡市九鐵本社に於て開催し左の如く重役を選任したり。

▲取締役(社長)伊丹彌太郎、松永安左衛門、古川與四吉

寒川恒貞、福澤駒吉 ▲監查役田中徳次郎、櫻木亮三、下

出民雄

同社株式一萬株中四千株は九鐵會社二千五百株は名古屋電燈に、三千五百株は九鐵重役に於て夫々引受けたるものにして今回は試験的に經營し愈確實の成績を得たる後更に規模を擴張すべく株式の如きも一般的に公募するに至るへしと而して同社の事業は電力を以て特殊の製鋼を爲すものにして其工場位置並に製造能力等は目下技師長に内定せる某氏の手に於て専ら調査中なれば近々其の具體的決定を見るへし尙ほ該事業生産費の主要部を占むる電力は九鐵の不用電力を使用するか故に他に比し頗る廉價なるを得べく將來規模擴張の曉は九鐵の二萬基發電設備も亦完成すへきを以て其豫備出力を利用せは餘裕綽々たるへしと云ふ。

●製鐵事業の大勢 我國の製鐵事業は造船業の發達

及各種産業の勃興に刺戟せられて著大の發展を示したるも殊に製鐵獎勵法の制定米鐵の禁出によりて一層其度を昂むるに至り八幡製鐵所及民間既設會社等は數次の規模擴張を行ふ一方新會社處在に設立せらるゝ事となりて戰前僅々二十余萬噸の生産額に過ぎざりしもの今や面目を一新して鋼鐵一百萬噸を超ゆるに至れり即ち最近の調査によれば昨大正六年度に於ける狀況如左(單位噸)

産地	地内		
	官	民	計
銑鐵	三一〇、〇〇〇	一三〇、八三八	四四〇、八三八
鋼鐵	五〇〇、〇〇〇	二七八、〇一〇	七七八、〇一〇
鋼材	三三〇、〇〇〇	二〇一、七八八	五五一、七八八

朝鮮
雜
錄

滿洲
合計 三八、六一〇
四七九、四四八
七七八、〇一〇
五五一、七八八
然るに本年に入りてより時局發生以來着手したる民間諸會社の操業を開始するもの漸く増加すると共に八幡製鐵所の第三期擴張計畫も生産上の實蹟を現す事となりたれば本年初頭に於ける生産見込額は左の如き數字を現せり。

(單位噸)

産地	地内		
	官	民	計
銑鐵	三五〇、〇〇〇	二三五、〇〇〇	五八五、〇〇〇
鋼鐵	六五〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一一五〇、〇〇〇
鋼材	四五〇、〇〇〇	三六〇、〇〇〇	八一〇、〇〇〇
合計	七四五、〇〇〇	一、二六五、〇〇〇	八二〇、〇〇〇

然るに米國の參戰及其一般的輸出禁止の影響顯著となりて米國よりの機械類の延着及内地に於ける擴張工事材料の製造遅延等によりて操業豫定の如く進捗せざる事最近に至りて益々明瞭となり八幡製鐵所の如き製品工場完成遅延するの結果曩に掲けたる七年度鋼材生産額四十五萬噸も或は三十七八萬噸以上には出てさるへしと云ふ、更に民間側にありても當初會社の設計杜撰なりし爲め工場の設備豫定の如く捗とらざるものと既設會社にありても原料銑鐵の市價著しく昂騰せるに拘らす米國よりは今尙一部の輸入(小型物)せらるるあり而も價格は銑鐵市價より低廉なる等の矛盾もある爲め専ら製銑に力を注ぎ製鋼力を著しく減殺

せるの憾あれば本年度の鋼鐵鋼材とも其の生産額は前掲の數字よりも減少すへきものと斷定せざる可らず、されと銑鐵のみは前述の如く市價の好況によると再製銑の生産に従事するもの増加せる等の結果前掲の七十四萬五千噸以上に上るへき見込なり以上は現況に止まるものなるか更に現在を基礎とし將來斯業の大勢を測定すれば左の如し。

種類	產地	八年					九年					十年				
		合計	滿洲	朝鮮	地内計	官民	合計	滿洲	朝鮮	地内計	官民	合計	滿洲	朝鮮	地内計	官民
銑鐵	合計	一、一五〇	二五〇	一〇〇	八二〇	四〇〇	一、三一〇	二五〇	一〇〇	九六〇	四九〇	一、四一〇	二五〇	一〇〇	九六〇	四九〇
	滿洲	二五〇	二五〇				二五〇	二五〇				二五〇	二五〇			
	朝鮮	一〇〇		一〇〇			一〇〇		一〇〇			一〇〇		一〇〇		
鋼鐵	合計	一、一五〇	八〇〇	一、六〇〇	五〇	八〇〇	一、一五〇	九〇〇	一、七二〇	五〇	八〇〇	一、一五〇	九〇〇	一、九二〇	五〇	八〇〇
	滿洲	八〇〇	八〇〇				九〇〇	九〇〇				九〇〇	九〇〇			
	朝鮮	一、六〇〇		一、六〇〇			一、七二〇		一、七二〇			一、九二〇		一、九二〇		
鋼材	合計	一、一八〇	五五〇	一、一四〇	四〇	五五〇	一、八八〇	六五〇	一、二六〇	四〇	六五〇	二、〇九〇	七五〇	一、四〇〇	四〇	六五〇
	滿洲	五五〇	五五〇				六五〇	六五〇				七五〇	七五〇			
	朝鮮	一、一四〇		一、一四〇			一、二六〇		一、二六〇			一、四〇〇		一、四〇〇		
合計		一、一八〇	一、三五〇	一、五三五	九五	一、五三五	一、五三五	一、五三五	一、五三五	一、五三五	一、五三五	一、五三五	一、五三五	一、五三五	一、五三五	一、五三五

●水澤製鐵工場

栗木製鐵會社にては今回水澤に八

噸爐一基を新設し先月二十三日火入れをなし其後日々若干の湯出しをなしあるか記者は東京大塚氏の紹介を以て工場

見物をなしたるか爐の工合も順調に運び居る様なり。

●印度鐵鋼株式會社設立趣意書

資本金一千萬圓

(ゼ、ステイツマン、三月十三日所載)

印度鐵鋼株式會社が設立せられたる目的は特に印度に於ける鑛山業及び鐵鑛石の採掘、鑄鐵、滿俺鑛、フェロマンガ、鑄造物、鍊鐵及び鋼、或はそれらの副産物の製造並びに販賣事業等を經營せんとするのにして、更に鐵及鋼の加工、並びにその他の材料に加工を施す是れに類似せる作業をも行はんとするを目的とせり。

當會社はカルカツタに於けるバーン會社と契約を結ひて既に該會社より鐵鑛石の豊富なる二つの重要な鑛地を譲り受け、同時にバーン會社に當會社の代理店たることを依頼したり。又一方現ベンガル鐵鋼株式會社の總支配人たるフエヤハースト氏の盡力に依り近くバーン會社との間に提携成りたれば當會社に執りては益々有利となれる有様となれり、而してバーン會社は當會社の爲に成す賣買に對しては一切手数料を要求せざるを以て有望なりと謂はざる可らざるなり。

印度に於ては他國に比して低廉なる費用を以て鐵を製造し得らるゝことは廣く熟知せらるゝ所ならんか今その所以のものを尋ねるに當國には極良質の鐵鑛石を得るに易く、燃料並びに勞力費廉價にして且つ豊富なること、鐵道運

賃の低廉なるとに起因せすんは非ざるなり。總ての必要とする原料は斯くの如く豊富にして、多くの條件は斯くの如く有利なり、斯く觀すれば印度が鐵鋼產出地として先づ指を屈せられん日も決して遠き將來にはあらざるへしと想はるゝなり。

當會社の原料貯藏は互に相近接し且つカルカッタに近き場所のみなるか故にカルカッタに輸送を行ふ場合に大なる便宜を有す、加ふるに各貯藏所と鐵道の本線とを連絡せしむべき支線の敷設に關してもその交渉既に落着せるを以て今後は一層の便利を得られん。

現歐洲戰役の開始以來印度に於ける諸生産物の販路が益々擴大せること甚大にして一例を舉ぐれば印度に作られたるコークスを以て製造せるフェロマンガンを以て歐米に於ける鋼を製造することは既に企てられぬ、而してその結果今や盛にフェロマンガンは製造せられて歐米に輸出されつゝあり。

凡そ一噸のフェロマンガンを得んと欲する時は必ず二噸の滿俺鑛を必要とす、印度に於て現今執りつゝある手段は鑛石よりフェロマンガンを得是を輸出しつゝあるなり、故に斯くせる爲作業の賃金の低廉なるに加ふるに輸送料に於て五割の節減を見るを以て經濟的なりと稱ふるを得へし。然るに戰役前にては北米合衆國に於て用ひらるゝフェロマンガンの半は印度より送れる原料を英國に輸送して吹分け

再ひ彼の地に輸出せられたるものなりき、されと今日に於ける形勢に至れるは會社に大なる活動舞臺を與へたることゝなれり、要するに會社の計畫は此の際大に努力し銑鐵及ヒフェロマンガンの製造設備を整へ、必要なる鑛石は會社自身の鑛山より得コークス竝ひにその副産物は會社自らの設備によりて製造せんとするに在り、而して會社の鑛石及ヒ石灰石貯藏の地所收用に關する手續は既に了せり。然も是等の鑛石貯藏所は數百萬噸を收容し得る能力を有す。

精煉事業に必要な最も適當の敷地は既にその收用の交渉成り、豫定としては最近型の熔鑛爐及ヒコークス爐を設置せんとするの計畫あり、銑鐵フェロマンガンはこの兩式の爐に依りて廉價に提供せらるゝことならんと信せらる。

設備の概要

當會社が第一に設置せんとするは最近型なる機械裝入裝置を有する熔鑛爐二基にして、これは夫々三百噸の銑鐵及ヒ二百噸のフェロマンガンを一日に製造し得る能力を有するものならざる可らず、又同時にコークス爐を作り硫酸アルミニウム及ヒコールタールに對する副産物回收裝置たらしめんとす。更に以上の外硫酸製造裝置、機械工場、鑄造場、鍛工場、木型製作工場倉庫及事務室に至る迄總て完備せしめ飽く迄巨額の原料を處理する工場らしく種々便利と成し最低額の生産費たらしめざる可らず。

會社の理想は單に鐵鋼の製造に止まらず鐵鑛石及ヒ石灰

石の鑛山の發達をも企て、自給自營以て機會の到來する毎に各部協力して大なる要求に應せんとするものなり、總ての敷地、建物の設備等の決定、設置の準備は恐らく今後約二年間を要すべく、戦争の終結に關らす極めて有利なる位置に一躍して成り、且永くその状態を繼續し得るならんと信す。

資本金

既に調査せられし當會社の資本に關する概算に依れば種々の權利獲得、並ひに事業の計畫、建築物設置、或は保險契約其他創業に要する費用は總體にて七百七十萬圓を超過せしむる可らざる有様なり、而して更に七十萬圓は臨時費とし、百六十萬圓は勞働資金として見込まれたり。

生産額及び生産費

設置せらるべき二基の爐は各々一箇年間に十一萬噸の銑鐵及び七萬三千噸のフェロマンガンを産出し得らるへし。而して生産に要する費用は決して次の額を超過するか如きこと無く或はこれに達せざることを甚しかるへしとも思はる。

銑鐵……………一噸に付十二圓

フェロマンガ……………一噸に付四十三圓

販賣

銑鐵及びフェロマンガの現在に於ける賣價は甚た高く決して歐洲戦争終結後も永續すべき性質のものに非ず、さ

らはとて戦前の値段も低廉に過ぎて信すべくも非ざるなり誠に歐米に於ける生活費等の増加は生産費にも増加を示し戦後に於ける値段は前二者の間なる可しと雖も具體的には輕々に判す可らず。それは當會社も少しも一時的の姑息なる概算を發表するを欲せず、然れとも何れ當會社か精算を立つるの日に於ては銑鐵の價格はヘマタイト銑及びクリーブランド銑の千九百五年より千九百十二年迄に至る平均價格一噸二十八圓より高價なるべきこと明かにして、フェロマンガに於ても同様なるべくエフ、オー、アール工場の平均價格が一噸に付九十圓以下となることは無かるべきなり。

純益

當會社は次に示すか如き純益の必ず獲らるべきを期待するものにして、寧ろ會社は更に一層美事なる結果を得んとを切望しつゝあり。

賣上高

銑鐵十一萬噸……………三百八萬圓

フェロマンガ七萬二千噸……………六百五十七萬圓

計……………九百六十五萬圓

支出額

銑鐵十一萬噸……………百三十二萬圓

フェロマンガ七萬二千噸……………三百十六萬圓

計……………四百四十八萬圓

差引

五百十七萬圓

其の他

豫備金(資本金の一割)

百 萬 圓

所得税、特別税、其他手数料

百 萬 圓

斯く計算すれば結局百十七萬圓の純益となり、これを配當にすれば年三割以上の額に達せん。而して前記の計算は歐洲戰前八年乃至十年間に於ける製造品の賣價に基づきて計算せられたるものなれば如何に不利に考ふとも尙安全なり、又斯くの如き廉價なること將來あるへくも非されは當會社はこれ以上更によき成績を挙げ得るに相違なかるべきを確信しつゝあり。

バーン會社は當會社の代理店として最も適當なる會社にして、ハウラに於ける該會社の機械工場にその例を徴するも明かならん、誠に印度最大の機械工場は當工場にして且最も新式にして然も大なる成功を示すものも當工場なりき。亦バーン會社のランゲン、ガリファルバリ、ジャバルポーアに於ける陶器製造所もその發達稀に見る程度のものにして見事なる成績を挙げつゝあり、此等の陶器製造所は今や盛に擴張せられ良質の耐火粘土及び硅石煉瓦の需用増大するに對して應ずるの準備成り、當會社の新型爐の適當なる耐火質の材料を充分供給せらるゝ筈なり。

要するにフエヤハースト氏の専門的知識と相俟つてバ

ン商會と當會社とか接近することは一方資本家をして實地の事務にたつさはらしむる事となり當會社に執りては特に喜ぶべき傾向と謂はざる可らず。

●株式會社 (設立)

- 一 商號 株式會社大崎鐵所
- 一本店 荏原郡大崎町大字下大崎四百十七番地
- 一 目的 一、鋼鐵銑鐵の糖煉及販賣 二、鋼鐵鑄鐵の器具機械類の製作及販賣三、前二項に附帶する事業
- 一 設立の年月日 大正七年六月二十六日
- 一 資本の總額 金五十萬圓
- 一 一株の金額 金五十圓
- 一 各株に付き拂込みたる株金額 金十二圓五十錢
- 一 公告を爲す方法 東京市に於て發行する時事新報に掲載す
- 一 取締役の氏名住所
 - 東京市日本橋區龜島町二丁目八番地 大塚 彌吉
 - 同所同番地 熊野 可一
 - 同市京橋區南小田原町四丁目五番地 三友 鋼三
 - 同市日本橋區蠣殼町一丁目三番地 所澤 貞太郎
 - 豐多摩郡大久保町大字西大久保四百四十五番地 小池 熊吉
 - 東京市麴町區元園町一丁目三十三番地 村中 徳次郎
 - 同市日本橋區龜島町二丁目十四番地 江平 徳松
 - 一 會社を代表すへき取締役 大塚 彌吉
 - 一 監査役の氏名住所
 - 東京市牛込區市谷町三丁目二十番地 南部 助之丞
 - 同市麴町區飯田町五丁目三十五番地 杉 田 駿
 - 同市京橋區大川端七番地 下村 鹿次郎
- 一 存立の時期 大正七年六月二十六日より大正三十七年六月二十五日迄滿三十ヶ年